

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

J R 烏山線沿線まちづくり推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

那須烏山市及び栃木県塩谷郡高根沢町

3 地域再生計画の区域

那須烏山市及び栃木県塩谷郡高根沢町の全域

4 地域再生計画の目標

J R 烏山線を取り巻く環境は、人口減少・少子高齢化の影響により、社会の経済活動が縮小するとともに、移動が負担となる交通弱者の増加やモータリゼーションの進展を背景に都市機能が拡散され、自動車利用を前提としたまちづくりが進み、利用者が年々減少傾向にある。また、生活消費は郊外型商業施設等のあるロードサイドへ流出し、商店の廃業や空洞化により、活力の低下に歯止めがかからない状況にある。さらに沿線に位置する県立高等学校は、地域の将来を担う人材として地域振興に果たすべき役割が大きいが、人口減少や高等教育に対するニーズの多様化等により、定員の確保に苦慮している状況にある。

しかしながら、J R 烏山線は、移動の手段の確保ばかりでなく、重要な地域資源として、地域の経済活動の基盤となっていることから、まちづくりと連動した地域の活性化が求められている。

そのため、J R 烏山線と県道宇都宮烏山線を通じて、隣接市町として関わりを深くもっており、宇都宮市広域生活圏に含まれ、定住機能や産業機能を補完する都市としての性格を有している那須烏山市と高根沢町の両市町により連携を強化する。そして、J R 烏山線を地域の魅力ある資源とともに磨き上げ、新たな価値を見出しながら、活動人口・交流人口の増加を図ることはもとより、活動を通して将来を担う人材の確保・育成や新たな連携・共創によってイノベーションを生み出し、広域連携による地域一体となったまちづくりを目指し、地域活性化による「稼ぐ力」と将来的な定住人口の増加に繋げることを目的とするものである。

【数値目標】

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末
観光客入込数	1, 211, 250 人	1, 287, 500 人	1, 373, 750 人
J R 烏山線平均通過人員 (宝積寺駅～烏山駅)	1, 471 人／日	1, 480 人／日	1, 490 人／日
休日滞在人口	100, 500 人	102, 500 人	104, 500 人

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

那須烏山市と高根沢町の両市町が、産官学金等の協働による広域的な連携を強化し、「J R 烏山線の魅力」と「地域の魅力」の双方を引き出し高め合い、地域一体となって磨き上げ「賑わいが稼ぐ力につながるまちづくり」を推進するために、一体的なプロジェクトとして実施するもの。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

① 事業主体

那須烏山市及び栃木県塩谷郡高根沢町

② 事業の名称：J R 烏山線沿線まちづくり推進事業

③ 事業の内容

本事業は、那須烏山市と高根沢町の両市町連携の他、関係機関との連携による協議会を設立し、それぞれの取り組みが実施できる体制（部会：チーム）を構築する。協議会は、広域的な視点に立ち、地域資源である J R 烏山線と地域の魅力資源や価値を地域一体となって『見つける×磨く×伝える』プロセスを共有しながら、地域の活性化へつなげるため「地域資源を生かした魅力創生」「広域連携によるローカルブランド力の向上」「交流人口増加に向けた J R 烏山線利用促進及び情報発信・プロモーションの強化」に向けた取り組みを市町主体事業と連携させながら実施する。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

J R 烏山線と地域の魅力ある地域資源を一体となって磨き上げ、ローカルブランド力の向上につながる新たな地域商品の開発、販売ルートの確立、担う人材育成・確保を連携して取り組むことで、地域産業の収益につなげる。そのため、協議会を設立し地域資源の洗い出しや商品開発により地域活性化に向けた仕組みづくりを行い、開発した商品に対しては、運用を外郭団体へ移行し、金融機関や会員との連携により商品化を図り、団体及び会員の収益増加につなげる。また、J R 烏山線沿線の「七福神」をクローズアップしたプロモーション活動などに取り組み、J R 烏山線の利用向上とまちの賑わいを創出し、税収の増加を図るなど地域経済の向上につなげる。

【官民協働】

産官学金等の連携による協議会を設立し、それぞれの特色や強みを活かしながら協働により地域一体となった事業の展開を図る。特に、包括連携協定を締結している金融機関との連携により、産業界や人材の確保を図り稼ぐ力へと結びつけるとともに、J R 東日本との連携により J R 烏山線と地域資源の一体的な魅力を発信し、利用者の向上や交流人口増加、まちの賑わいへとつなげる。これら民間の持つネットワークやノウハウなどを最大限に活用し事業を推進する。さらには、地元高等学校や地域住民等が互いにそれぞれの視点で取り組みを共有し、おもてなしの醸成、地域の魅力づくりなど、事業の具現化へと結びつける。

【政策間連携】

共通する政策課題に対して連携することで、事業の効率化を図り、相乗効果により地域の活性化を図る。特に、広域連携による一体的な取り組みとして、J R 烏山線を地域の魅力ある資源とともに磨き上げることによって、食と産業・観光・健康・人材育成などの政策が促進され、その効果が、活動人口・交流人口の増加とともに、地域の活性化が図られ、将来的な定住人口増加へとつながる効果を得る。

【地域間連携】

J R 烏山線と地域の魅力を創出させ、広域連携による地域一体となったまちづくりを進めることで、単独のみの効果よりも、その波及効果は民間の力とともに倍増し、それぞれの持つ特色や強みが相乗効果を生み、より地域全体の活力につながる。また、取り組みによって新たに創生された地域商品やコンテンツによって地域を活性化させ、広

域連携で地域ビジネスの創出へとつなげる。

【その他の先導性】

特になし

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末
観光客入込数	1,211,250 人	1,287,500 人	1,373,750 人
J R 烏山線平均通過人員 (宝積寺駅～烏山駅)	1,471 人／日	1,480 人／日	1,490 人／日
休日滞在人口	100,500 人	102,500 人	104,500 人

⑥ 評価の方法、時期及び体制

那須烏山市

・地方創生推進交付金を活用した事業の K P I の達成状況の評価・分析等にあたって、毎年度 9 月を目途に「那須烏山市総合政策審議会」を開催して検証を行うとともに、市議会常任委員会へ経過等を説明し、検証・改善のための議論を行う。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業の取り組みに反映する。検証結果については、速やかに市のホームページ等により公表する。

栃木県塩谷郡高根沢町

・地方創生推進交付金を活用した事業の K P I の達成状況の評価・分析等にあたって、毎年度 8 月を目途に「高根沢町総合戦略推進会議」を開催して検証を行うとともに、町議会議員全員協議会へ経過等を説明し、検証・改善のための議論を行う。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業の取り組みに反映する。検証結果については、速やかに町のホームページ等により公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

① 法第 5 条第 4 項第 1 号イに関する事業【A3007】

・総事業費 53,808 千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から、平成 31 年 3 月 31 日（3 カ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

(1) 下野の国二大祭り×2市=まちの賑わい∞（無限大）プロジェクト

① 事業概要

鹿沼市と那須烏山市が連携し、ユネスコ登録の話題性を利用し、統一ブランド商品の開発や首都圏でのまつり再現プロモーションを実施し、両市のイメージと知名度を高め、さらに「外国人観光客獲得事業」などを実施することにより来訪者の拡大を図る。

② 事業主体

鹿沼市及び那須烏山市

③ 補助制度名

地方創生加速化交付金

④ 事業期間

平成 28 年 3 月 29 日から、平成 29 年 3 月 31 日

(2) 「駅でつなげる」、「駅からつながる」コンパクトシティ形成推進事業

① 事業概要

高根沢町の表玄関であるとともに、交通結節点であり、最も色々な人が行き交う JR 宝積寺駅を舞台に、交流人口増加に向けた取り組みを実施するとともに、まちづくり（コンパクトシティ形成に向けた、コアタウンのゾーン形成）を推進していく事業であり、駅前で行う市（マルシェ）の常設化や高根沢新グルメ（農産物加工品）の開発販売等により、集客力を強化するとともに、事業を推進していく中で、駅を中心としたゾーン形成、新たな地域づくり担い手の発掘・育成に取り組む。

② 事業主体

高根沢町

③ 補助制度名

地方創生加速化交付金

④ 事業期間

平成 28 年 6 月 17 日から、平成 29 年 3 月 31 日

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成 31 年 3 月 31 日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

那須烏山市

・「那須烏山市総合政策審議会」による検証を行うとともに、市議会常任委員会へ経過等を説明し、検証・改善のための議論を行う。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業の取り組みに反映する。

栃木県塩谷郡高根沢町

・「高根沢町総合戦略推進会議」による検証を行うとともに、町議会議員全員協議会へ経過等を説明し、検証・改善のための議論を行う。また、必要に応じて地方版総合戦略や今後の事業の取り組みに反映する。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

	平成 29 年 3 月末	平成 30 年 3 月末	平成 31 年 3 月末
観光客入込数	1,211,250 人	1,287,500 人	1,373,750 人
J R 烏山線平均通過人員 (宝積寺駅～烏山駅)	1,471 人／日	1,480 人／日	1,490 人／日
休日滞在人口	100,500 人	102,500 人	104,500 人

那須烏山市

・地方創生推進交付金を活用した事業の K P I の達成状況の評価・分析等にあって、毎年度 9 月を目途に「那須烏山市総合政策審議会」を開催する。

栃木県塩谷郡高根沢町

- ・地方創生推進交付金を活用した事業のK P I の達成状況の評価・分析等にあたって、毎年度8月を目途に「高根沢町総合戦略推進会議」を開催する。

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

那須烏山市

- ・那須烏山市のホームページ等により毎年度公表する。

栃木県塩谷郡高根沢町

- ・高根沢町のホームページ等により毎年度公表する。